

会 告

第36・37回西山記念技術講座開催のお知らせ

テーマ：厚鋼板の材質上の諸問題

第 36・37 回西山記念技術講座を下記のとおり開催いたしますので多数ご来聴下さいますようご案内いたします。

I 期日 第 36 回 東京 昭和 50 年 11 月 26 日(水), 27 日(木)
新丸ビル地下 1 階大会議室 (東京駅丸の内側)
(千代田区丸の内 1-5-1 TEL 03-211-6211)

第 37 回 大阪 昭和 50 年 12 月 10 日(水), 11 日(木)
大阪科学技術センター 大ホール
(大阪市西区靱 1-118 TEL 06-443-5321) うつぼ公園隣

II 演題ならびに講師

第一日 10:00~12:30	厚鋼板の母材靱性	新日本製鉄基礎研究所	井 上 泰
13:30~16:00	厚鋼板の熱処理と特性	住友金属工業中央技術研究所	邦 武 立 郎
第二日 10:00~11:30	制御圧延と厚鋼板の機械的性質	日本鋼管技術研究所	小 指 軍 夫
13:00~14:30	厚鋼板の特性と製鋼要因	川崎製鉄技術研究所	船 越 督 己
14:45~16:15	溶接接合部および溶接熱影響部の靱性	新日本製鉄基礎研究所	関 野 昌 蔵

III 講演内容**1. 厚鋼板の母材靱性** 新日本製鉄(株)基礎研究所 井 上 泰

厚板の靱性は多くの因子によつて支配され、それらによつて敏感に変化するのでバラツキも多く推定がむずかしい。しかしながら最近にいたるまでの数多くの研究によりいくつかの指導原理と直接的、間接的な要因が明らかにされている。ここではこれらの靱性支配因子を冶金学的要因別に整理して述べる。

2. 厚鋼板の熱処理と特性 住友金属工業(株)中央技術研究所 邦 武 立 郎

高張力鋼板、低温用鋼板、造船用鋼板など、厚鋼板の強靱性、溶接性などに対して要求される性能は、ますます高度のものになりつつある。これにこたえるために、鋼の成分系の選定、入念な溶製、圧延の後、焼入れ、焼もどし、あるいは焼ならしなどの熱処理が施こされる。厚鋼板の熱処理と微視組織、さらにその特性におよぼす影響について述べる。

3. 制御圧延と厚鋼板の機械的性質 日本鋼管(株)技術研究所 小 指 軍 夫

制御圧延 (Controlled Rolling) はすでに実生産に広く応用されている技術であり、最近これに関する研究も多い。本講では制御圧延の基礎として機構的な側面について統一的な説明を試み、またいくつかの実例について述べる。さらに最近問題になっている集合組織の生成、2 相領域における圧延などについても簡単に触れる。

4. 厚鋼板の特性と製鋼要因 川崎製鉄(株)技術研究所 船 越 督 己

厚鋼板の諸特性、主として延性、靱性、疲労特性、耐ラメラテア性および遅れ破壊特性などが製鋼要因によつてどのような影響をうけるかについて述べる。

製鋼要因として非金属介在物、偏析、不純物元素などをとりあげ、これらと製鋼方法との関連についても触れる。もつとも重要な因子は非金属介在物であり、破壊の発生位置になるばかりか、形態や形状によつては鋼板内の異方性の主原因となり、それらの対策についても述べる。

5. 溶接接合部および溶接熱影響部の靱性 新日本製鉄(株)基礎研究所 関 野 昌 蔵

厚板、高張力鋼板の脆性破壊発生防止の観点が最も重要な特性の 1 つが溶接接合部および溶接熱影響部の靱性である。この点について今までわかつている知識を主として成分面からまとめた。構造物全体の安全性は総合技術の結果であり、溶接接合部および溶接熱影響部の靱性以外にも多くの因子が関連をもっていることを解説する。

IV 聴講料無料 (事前の申込みは必要ありません)**V テキスト代** 3,000 円**VI 問 合 せ 先** 日本鉄鋼協会編集課 〒100 千代田区大手町 1-9-4 TEL 03-279-6021**VII そ の 他** 講座の開催当日会場にて協会の刊行物を展示頒布いたします。

「鉄鋼及び原材料の原子吸光分析」講習会案内

主催 (社)日本鉄鋼協会

協賛 (社)日本分析化学会・関東支部、近畿支部、九州支部、関西分析研究会

最近の原子吸光分析法の発展は目覚ましいものがあります。

日本鉄鋼協会・共同研究会・鉄鋼分析部会化学分析分科会では長年鉄鋼及び原材料分析法の研究開発を進めてきましたが、この度鉄鉱石に引き続き、鉄鋼の原子吸光分析法が JIS G1257 として今春制定されました。この機会に当協会ではこの間の研鑽の成果を含め、鉄鋼全般に亘る原子吸光分析法の解説書 (B5, 約 300 頁) を作成し、分析技術講習会を開催することと致しました。新しい分析技術習得のため奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期日・会場

東京地区：昭和 50 年 11 月 12 日 (水)

日本交通協会大会議室 東京都千代田区丸の内 3-4 新国際ビル 9 階 (Tel. 03-216-4081)

[交通：国電・有楽町駅下車そごう百貨店すぐ向え、地下鉄・丸の内線銀座下車、日比谷線・千代田線日比谷下車、有楽町線有楽町下車]

北九州地区：昭和 50 年 11 月 14 日 (金)

勤労者会館 4 階第 1, 2 会議室 北九州市八幡区中央 2 丁目 1-1 (Tel. 093-661-7334)

[交通：国鉄鹿児島本線八幡駅前より、西鉄中央町下車そば]

大阪地区：昭和 50 年 11 月 17 日 (月)

電子会館 9 階ホール 大阪市北区梅ヶ枝町 72 (Tel. 06-363-2331)

[交通：大阪駅より徒歩 10 分、御堂筋梅田新道交叉点より東へ約 200m 北側]

2. テーマ・講師

- | | | |
|----------------|---|--------------------------------------|
| 1) 9:50~10:00 | 挨拶 | 鉄鋼分析部会長
新日本製鉄(株)製品技術研究所所長 池野 輝夫 |
| 2) 10:00~11:00 | 総論
(原理, 装置, 干渉, 標準化) | (株)神戸製鋼所中央研究所
主任研究員 松村 哲夫 |
| 3) 11:00~12:30 | 鉄鋼の分析法 (直接法) | 川崎製鉄(株)水島製鉄所
管理部副部長 遠藤 芳秀 |
| 12:30~13:30 | 一昼食休憩 | |
| 4) 13:30~14:30 | 鉄鋼の分析法
(分離定量法, 間接定量法) | 住友金属工業(株)中央技術研究所
基礎研究室主任研究員 新見 敬古 |
| 5) 14:30~15:30 | 鉄鋼原材料の分析方法
(鉄鉱石, フェロアロイ, 耐火物, ダスト, 工場排水) | 日本鋼管(株)技術研究所
分析研究室係長 鈴木 好道 |
| 6) 15:30~16:30 | 原子吸光分析法の最近の動向
(装置上, 技術上から見た) | 新日本製鉄(株)基礎研究所
分析研究室課長研究員 大槻 孝 |
| 7) 16:30~17:00 | 質疑応答 | |

3. 会費 会員 6,500 円, 非会員 7,000 円 (いずれもテキスト代含む)

4. 定員 東京・大阪会場 150 名, 北九州会場 100 名

5. 申込締切日 昭和 50 年 10 月 31 日 (金)

6. 申込方法 所定の申込用紙 (N151 ページ) に必要事項をご記入のうえ代金を添えお申し込み下さい。
代金は、現金書留、郵便振替 (東京 193 番、通信欄に送金内訳を記入)、あるいは銀行振込みにてお払い込み下さい。入金次第参加券を送付いたします。

[取扱銀行・第一勧業銀行本店、東京銀行丸の内支店、太陽神戸銀行東京支店、
東海銀行東京支店、住友銀行東京支店、三菱銀行大手町支店]

7. 申込先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
(社)日本鉄鋼協会 編集課

鉄鋼基礎共同研究会 遅れ破壊部会シンポジウム

遅れ破壊の機構

主 催 鉄鋼基礎共同研究会遅れ破壊部会（日本学術振興会・日本金属学会・日本鉄鋼協会）
日 時 昭和 50 年 11 月 27 日（木） 9:30～17:00
会 場 農協ビル 8 F 第2大会議室 東京都千代田区大手町 1-8-3 TEL (03)-279-0311

プ ロ グ ラ ム

- (1) 9:30～10:00 挨拶および遅れ破壊部会経過報告 阪大基工 藤田 英一(部会長)
- (2) 10:00～11:15 電子論的、原子論的観点から見た遅れ破壊 東大工 堂山 昌男
- (3) 11:15～12:30 水素を吸蔵した単結晶の変形と破壊 国鉄技研 松山 晋作
- (4) 13:30～14:45 遅れ破壊における破壊力学・フラクトグラフィー 神鋼中研 酒井 忠迪
- (5) 14:45～16:00 水素脆性における炭化物の役割 東工大 中村 正久・都立大工 坂木 庸晃
- (6) 16:00～17:00 パネルディスカッション

テキスト 過去5年間における部会活動の最終報告書「遅れ破壊の機構について」約 300 頁
予価 3,000 円（送料本会負担）

参加費無料（事前の申込みは必要ありません）

お問合せ先及びテキスト申込み先

日本鉄鋼協会 技術部 古米 正 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
TEL (03)-279-6021 (代)

.....切.....取.....線.....

「鉄鋼及び原材料の原子吸光分析講習会」申 込 書

東, 北, 大 No.

申込者名 (複数の場合は全員氏 名をご記入下さい)	
連絡者名, 勤務先 住所	〒 (電) - - 内線
領収書, 参加券 送付先 (上記欄に異なる場合)	〒 (電) - - 内線
送金方法 (○で囲って下さい)	1. 現金書留, 2. 郵便振替, 3. 銀行振込 _____ 銀行
送金額	円× 名 計 _____ 円
受講地区 (○で囲って下さい)	1. 東京地区 2. 北九州地区 3. 大阪地区

第12回金属関係学協会東北支部

連合シンポジウム案内

(金属学会、鉄鋼協会、溶接学会、鋳物協会
軽金属学会、鋁業会)

日 時 昭和50年10月31日(金) 13:00~17:00

場 所 仙台市荒巻字青葉
東北大学工学部金属系大講義室

主 題: “環境と構造物”

プ ロ グ ラ ム

1. 石油精製および石油化学装置における
高温損傷事例について
日本揮発油技研 泉山 昌夫
2. 低温および極低温装置材料の諸問題について
石播溶接研 栗山 良員
3. 材料学的に見た原子力施設の諸問題
住金中技研 近藤 豊

第26回塑性加工連合講演会案内

日 時 昭和50年11月12日(水)~14日(金) 10:00~16:30

場 所 京都工業会館

(京都市右京区西京極豆田町2 Tel. (313) 0751~4)

第一会場 4階 講 堂

第二会場 4階 大会議室

第三会場 3階 第1教室

○プログラムは直接問い合わせ下さい。

参加登録料 会 員 1,000 円

学生会員 500 円

講演論文集 参加登録者 1冊 3,000 円

論文集のみ(予約) 1冊 3,500 円

同 上(予約なし) 1冊 4,000 円

申込先 日本塑性加工学会

東京都港区六本木 5-2-5 トリカツビル

論文集申込み締切 10月18日(土)

日本工学会シンポジウム

産業施設の地震災害とその対策

日 時 昭和50年12月5日(金) 9:00~17:00

会 場 土木学会図書館講堂

(新宿区四谷1丁目、国電、地下鉄とも
四谷駅下車)

9:05 会長挨拶 日本工学会会長 武藤 清

9:15 地震災害の実例 東 大 柴田 碧

10:15 討 論

10:45 地盤災害と地上施設 東 大 大崎 順彦

11:45 討 論

13:00 地盤災害と地下施設 東 大 久保慶三郎

14:30 討 論

15:00 地震災害の防止と評価 横浜国大 井上 威恭

16:15 討 論

16:30~17:00 全員参加討議

「計測制御における統計的手法」講習会案内

主催 社団法人 計測自動制御学会関西支部

協賛 日本鉄鋼協会、ほか

日時: 昭和50年12月4日(木) 9:30~16:40

会場: 中央電気クラブ 511号室 (大阪市北区堂島中 2-9)

電話 06-345-6351)

プ ロ グ ラ ム

統計的手法の基礎 大阪大学 西田 俊夫氏
実験計画法とその応用

電子技術総合研究所 栗岡 豊氏
多変量解析とその応用 塩野製薬(株) 後藤 昌司氏

確率過程論の制御への応用

京都工芸繊維大学 砂原 善文氏

定 員: 80名。先着順により定員になり次第締切ります。

聴講料: 会員 5,000円、会員外 7,000円、学生 3,000円(テキスト代を含む)。テキストのみご希望の方には1部 1,500円(送料当方負担)で講習会終了後頒布いたします。

申込方法: 適当な用紙に氏名、勤務先(住所、部課名、電話)連絡先ご明記の上、聴講料を添えて下記へお申込み下さい。送金方法は銀行振込(三井銀行堀川支店、普通預金 938-876)、現金書留または小為替でご送金下さい。

申 込 先: 社団法人 計測自動制御学会関西支部
(〒530) 大阪市北区堂島北町1 大東ビル
日本電気計測器工業会関西支部内

問合せ先: 工業技術院計量研究所大阪支所 高井 登
(電話 06-312-0521) または、
堀場製作所技術本部長室 殿西 文一
(電話 075-313-8121)

金属学会セミナー

電子計算機の金属学への応用

日本鉄鋼協会、ほか

第1次 日時: 昭和50年10月30日(木)~31日(金)

場所: 大阪大学工学部岡田メモリアルホール
(吹田市字山田上 電話 06-877-5111)

第2次 日時: 昭和50年11月11日(火)~12日(水)

場所: 金属材料技術研究所大会議室
(東京都目黒区中目黒2-3-12 電話03-719-2271)

聴講料(テキスト代を含む)

会 員 9,000円 非 会 員 15,000円

学生会員 4,000円 学生非会員 6,000円

(協賛学協会の会員は会員聴講料とします)

申込締切 昭和50年10月15日

定 員 150名(ただし定員に達し次第締切ります)

申込要領

所定申込書の各欄ご記入の上、聴講料を添え(現金書留、為替、振替 仙台 5592 のいずれでもよい)お申込み下さい。受理次第聴講券をお送りいたします。

申込先 980 仙台市荒巻字青葉 日本金属学会

第1日 10月30日

9:30 1. コンピューター入門、その哲学

三 菱 荘田 勝彦

- 11:30 2. ハードウェア, ソフトウェアとは? (I)
東大工 和田 英一
- 13:30 3. ハードウェア, ソフトウェアとは? (II)
東大工 和田 英一
- 14:30 4. 金属工業の現場における応用
新日鉄 吉谷 豊
- 16:45 パネル討論
- 第2日 10月31日**
- 9:30 5. 実験装置のコンピューター化
東大物性研 近覧 聡信
- 11:15 6. 実験・分析等のデータ解析 (I)
阪大工 南 茂夫
- 13:15 7. 実験・分析等のデータ解析 (II)
阪大工 南 茂夫
- 14:00 8. 金属工業における反応系の
シミュレーション
東北大学選研 大森 康男
- 15:40 9. 材料中の原子的過程の実験と思考実験
阪大基工 桐谷 道雄
- 17:10 パネル討論

第3回耐熱合金に関する国際会議

時: 1976年9月12日~15日

所: Seven Springs, Pennsylvania, U. S. A.

主催: The High Temperature Alloys Committee of
the Institute of Metals Division of TMS-
AIME

主題: SUPERALLOYS-METALLURGY AND
MANUFACTURE

プログラム (予定)

MON. AM-CURRENT NEEDS AND NEW
APPLICATIONS

Coal Gasification, Pollution Control Equipment,
Nuclear Reactors, Steam and Gas Turbines,
Electrical Generators, Automobile Engines Chem-
ical Industry.

MON. PM-AVAILABILITY AND CONSERVA-
TION

Mineral Reserves, Needs/Problems of Recycling,
World & U. S. Outlook.

TUES. AM-PHYSICAL METALLURGY

Strengthening Mechanisms, Mechanical Proper-
ties, Grain Boundary Phenomena, Microstructural
Control and Stability, Environmental Effects,
Trace Element Effects.

TUES. PM-ADVANCED MATERIALS

Superalloys, Eutectics, Composites, Dispersion
Strengthened Alloys, Coatings.

WED. AM-MEW TRENDS IN MANUFACTU-
RING PROCESSES

Powder Metallurgy (HIP, Mechanical Alloying,
Splat Cooling, etc.)

Melting and Casting

Forming (Superplastic, Creep, Machine Casting,
etc.)

Joining (Inertia Welding, Diffusion Bonding,
Fusion Welding, etc.)

Thermo-Mechanical Treatment

Computer Control and Automation

Quality Control and Inspection

Machining (ECM, High-Speed, etc.)

研究発表を希望される方は2ページ以内のアブストラ
クト (必要なら図を入れてもよい) を 1975年12月1
日までに下記にお送りください。

B. H. Kear, Pratt & Whitney Aircraft, Building
140, P. O. Box 611, Middletown, Conn. 06457.
U. S. A.

第2回材料の力学的挙動に関する国際会議開催お知らせ
(Second International Conference on Mechanical
Behavior of Materials)

開催期日 1976年8月16日~20日

開催場所 Sheraton Boston Hotel, Boston,
Massachusetts, U. S. A.

主 催 Federation of Materials Societies
Conference Preliminary
Organizing Committee

Chairman:

N. E. Promisel

Past President, FMS

Co-Chairman:

V. Weiss

Syracuse University

J. J. Burke

R. M. Coldhoff

S. Taira

A. E. Corum

J. Morrow

M. Steinberg

Conference Secretariat

ICM- II

American Society for Metals

Member Societies

American Ceramic Society

American Chemical Society

American Institute of Chemical Engineers

American Society for Metals

American Society for Nondestructive Testing

Society of Plastics Engineers

Institute of Electrical & Electronic Engineers

National Association of Corrosion Engineers

Society of Manufacturing Engineers

The American Society of Mechanical Engineers

The Metallurgical Society/AIME

Contributing Societies

American Welding Society

Society of Advanced Materials and Process
Engineers

(付記)

1st Circular 申込先 日本材料学会

(〒606 京都市左京区吉田泉殿町1の101)